

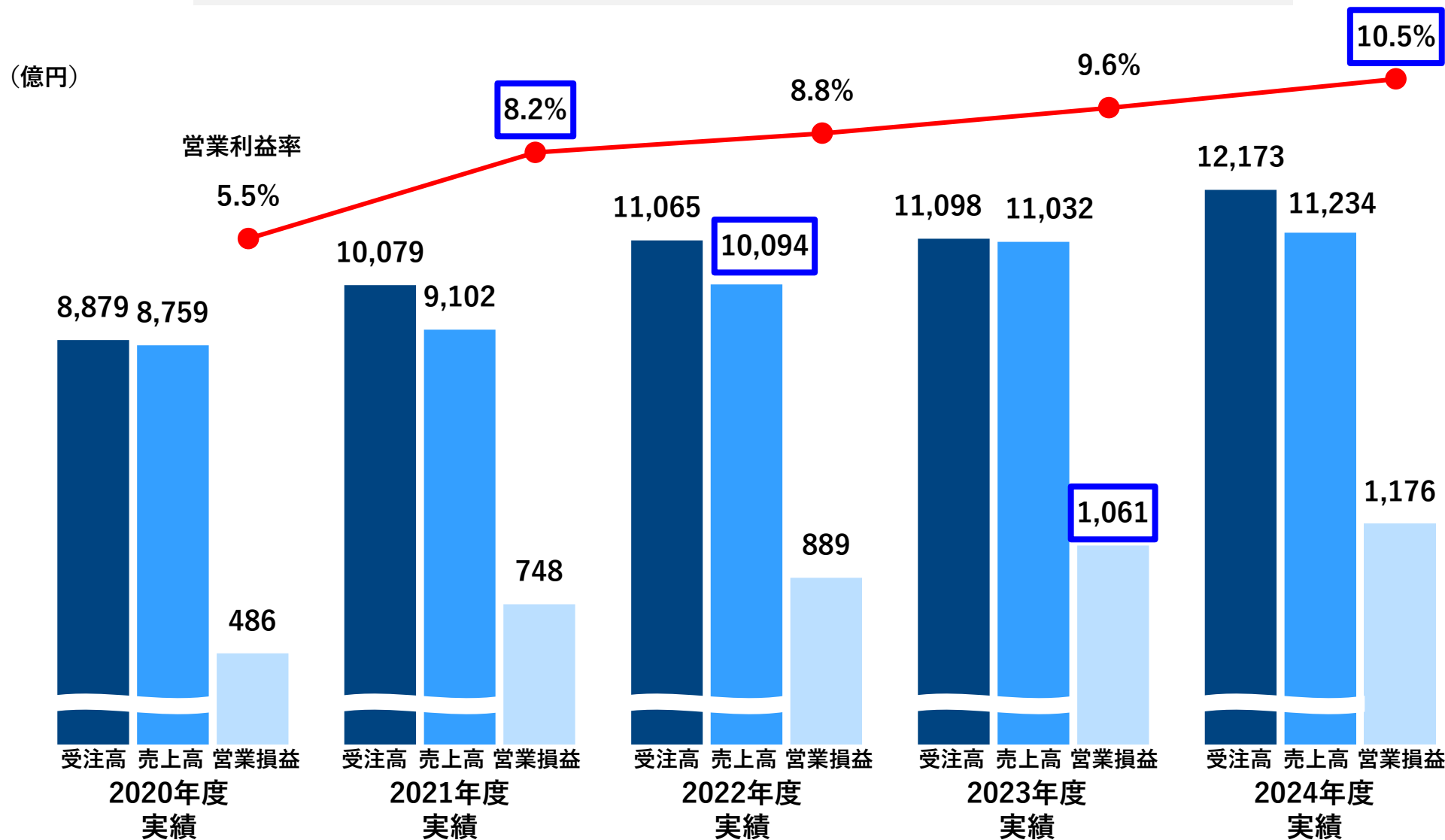
2024年度 通期決算
2025年度 経営計画
説明会

富士電機株式会社
2025年4月25日

売上高、営業損益、純損益は過去最高を更新
営業利益率 10%超を達成

	2023年度	2024年度	対前年
売上高	11,032億円	11,234億円	+202億円
営業損益 (営業利益率)	1,061億円 9.6%	1,176億円 10.5%	+116億円 +0.9%
純損益 (純利益率)	754億円 6.8%	922億円 8.2%	+169億円 +1.4%
ROE	13.5%	14.3%	+0.8%
ROIC	11.5%	12.9%	+1.4%

掲げた目標を着実に達成



エネルギー インダストリー

- プラントシステム
エネルギー需要の拡大、脱炭素化により需要は拡大基調を維持
（再エネ関連、IDC・半導体工場の新增設、老朽化設備更新）
受注も好調に推移
- コンポーネント
コロナ以降の需給バランスの崩れにより、需要回復が後ろ倒し

半導体

- 電動車市場の伸長は想定よりも緩やか
- 再エネ向けの需要は堅調継続

食品流通

- 高付加価値商材の展開および改刷対応により伸長

2026年度 中期経営計画

変化する時代に適応して、持続的な企業価値向上と社会貢献を目指す

全社目標値は変えない

2025年度 経営計画

市場動向

- AIデータセンターや半導体工場の新增設を背景としたエネルギー需要が増大
- 脱炭素化へ向けた取り組みスピードに変化
- 米国の通商政策影響は注視が必要

基本方針

- 不確実性が増大する中で、変化への適応力を磨き、中期経営計画で掲げた利益重視の経営を推し進める
- 需要の変化に適応した生産体制構築、生産能力向上へ向けた最適かつタイムリーな投資の実行、デジタル技術の活用による生産性向上に取り組む
- エネルギー、インダストリーのパウエレ事業が核となり業績をけん引する

- エネルギープラント事業の強化
- デジタル活用によるリアルの価値創出強化 と ソフトビジネス拡大
- FAコンポーネントと器具のシナジーで提案力・営業力強化

変更前（2024年度）

セグメント	サブセグメント
-------	---------

エネルギー	発電プラント
	エネルギーマネジメント
	施設・電源システム
	器具

インダストリー	オートメーション
	社会ソリューション
	DXソリューション
	設備工事

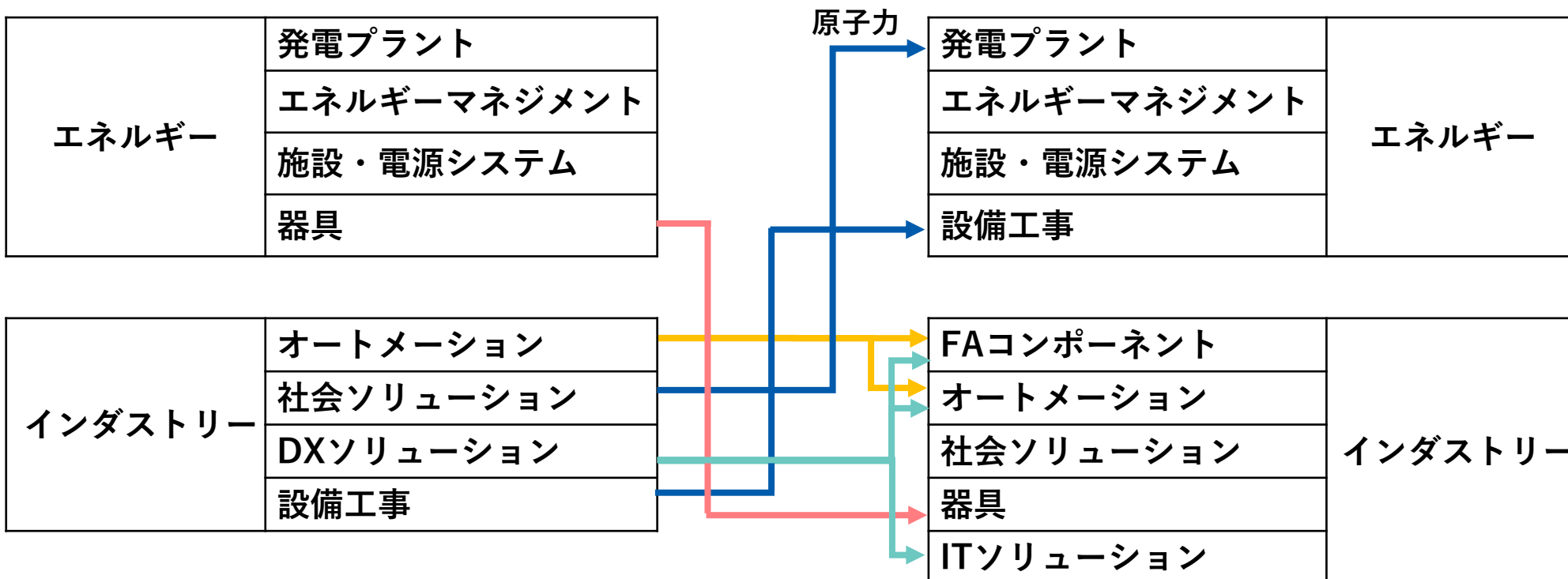
変更後（2025年度）

サブセグメント	セグメント
---------	-------

発電プラント	エネルギー
エネルギーマネジメント	
施設・電源システム	
設備工事	

FAコンポーネント	インダストリー
オートメーション	
社会ソリューション	
器具	
ITソリューション	

原子力



2025年度 セグメント別売上高・営業損益（対前年）

エネルギー、インダストリーの伸長が
半導体、食品流通の減収減益をカバーして増収増益

（億円）

	2024年度 実績			2025年度 経営計画			増減		
	売上高	営業 損益	営業 利益率	売上高	営業 損益	営業 利益率	売上高	営業 損益	営業 利益率
エネルギー	3,543	363	10.2%	3,745	465	12.4%	201	102	2.2%
インダストリー	4,000	340	8.5%	4,135	405	9.8%	135	65	1.3%
半導体	2,368	371	15.7%	2,230	215	9.6%	-138	-156	-6.0%
食品流通	1,115	139	12.5%	1,050	120	11.4%	-65	-19	-1.0%
その他	561	38	6.7%	580	40	6.9%	19	2	0.2%
合計	11,234	1,176	10.5%	11,400	1,180	10.4%	166	4	-0.1%

※2024年度実績は、2025年度の事業組替の数値を反映しています。

重点施策

エネルギー

- 増大するエネルギー需要と脱炭素化ニーズを捉えた受注拡大
- 生産能力増強、生産性向上
- プロジェクトマネジメントの継続強化

インダストリー

- コンポーネント事業の製販一体化による収益力・資本効率向上
- プラントにおける自動化・省エネ・電化のトータルソリューション強化
- インドの事業拡大（スマートメータ）

半導体

- 生産能力増強投資の継続（需要に合わせてスピードコントロール）
- 研究開発投資は緩めずに実行
- 再生可能エネルギー分野の伸長

食品流通

- 顧客価値創出に貢献する高付加価値新商材の売上拡大
- 外食や食品、流通業などの新分野の開拓力強化

熱く、高く、そして優しく2026

持続的な企業価値の向上

「変化への適応力」と「2つの『そうぞう力』」

Imagination & Creativity

1. 本資料及び本説明会に含まれる予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
2. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社の株式の売買を勧誘するものではありません。
3. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。